

# テレコミュニケーション2010年10月号『Web会議選びのポイント』P41抜粋

エイネットの「Fresh Voice」のように、SI型のみを提供しているベンダーもある。

## “コラボ的”なID型Web会議

ASP/SaaS型のコストパフォーマンスを大きく左右するのが契約形態と料金プランだ(図表4)。

現在、主流派といえるのが「ルーム型」だ。バーチャルな会議室を単位に契約するもので「会議室数×月額費用」が料金計算の基本となる。利用時間や最大同時接続数によって会議室の単価が変わり、例えば「50人部屋を1つ」、複数の会議を並行して行う場合には「10人部屋を2つ、

5人部屋を3つ」のように契約する。

料金プランについては、利用時間に制限のない定額制と、従量課金制の両方を用意しているベンダーが多い。例えばNTTアイティのMeetingPlazaでは、最大同時接続数と利用時間に応じて多様なプランを用意している。「お客様の目的・実情に合わせた最適なプランが選べる」(石上氏)のが利点だ。例えば、半期に1度複数拠点をつなぐ大規模な会議を行うときだけ接続数の多いプランに切り替え、残る期間は最安のプランに切り替えるユーザーもいるという。

一方、ID型は利用する人(または

端末)ごとにIDを持ち、「ID数×月額料金」を支払う形態だ。定額制で、総コストが分かりやすいのが特徴だ。

ID型は、現時点では少数派だ。代表例はJMSのLiveOn。また、ルーム型とID型の両形態が使えるニューロネットの「SaaSBoard」もある。

ID型の最大の利点は、会議室数に制限がないことだ。小規模なミーティングを複数同時に行えるため、多数の社員が実務レベルの共同作業に利用するケースなどに適している。ニューロネットの代表取締役社長・前川博文氏は「好きな時間に好きな場所で必要な相手とミーティン

図表5 ASP/SaaS型Web会議の一覧

社名	ビキューブ	ジャパンメディアシステム	NTTアイティ	シスコシステムズ	ニューロネット	
サービス名	V-CUBEミーティング	LiveOn	MeetingPlaza	WebEx	SaaSBoard	
契約形態	会議室型	ID型	会議室型	会議室型	ID型	会議室型
料金	初期費用	4万7250円	8万1900円/ID	3万円～*1	要問い合わせ	
	料金形態	定額/従量	定額	定額/従量	定額	
	月額料金*2	8万3895円	3150円/ID	4万5000円～	7000円～	2980円/ID
環境	対応OS*3	Win/Mac/Lin	Win	Win	Win/Mac/Lin	
	対応言語	日・英・中	日	日	10カ国語	
必須機能	映像交信	○	○	○	○	
	音声交信	○	○	○	○	
	ホワイトボード	○	○	○	○	
	ファイル共有	オプション	○	○	○	
	デスクトップ共有	オプション	オプション	×	○	○
便利機能	アプリ共有	オプション	オプション	○	×	○
	テキストチャット	○	○	○	○	
	メディア再生	×	○	×	○	
	録音録画	○	○	○	○	
	ファイル転送	○	○	×	×	
	HD映像	×	オプション	×	×	オプション
招集・予約	アンケート	×	○	○	×	
	プレゼンス	×	オプション	×	×	
	スケジューラ	×	オプション	○	○	×
	SNS	×	×	×	×	○

\*1 同時接続数により異なる ※2 定額制の料金を表示 ※3 Win: Windows、Lin: Linux (OSごとの対応状況は要確認)